

# 平成29年度 国立大隅青少年自然の家 教育事業 教員免許状更新講習

- 1 趣 旨 教員が体験活動の意義について理解するとともに、児童・生徒の集団宿泊学習等を効果的に実施するための基本的な体験活動の指導技術を身に付ける。また、学習指導要領における体験活動の取扱いについて理解し、教育活動における体験活動の取り入れ方を講義や実習を通して修得する。
- 2 期 日 平成29年8月2日（水）～4日（金） 2泊3日
- 3 対 象 者 主に小・中学校の教員及び同免許保持者  
※全日程を受講できる者
- 4 募集定員 40人
- 5 参加者 51人
- 6 指導者 人財科学研究所代表 工藤 智徳 氏  
鹿屋市教育委員会教育長 中野 健作 氏  
鹿児島県立博物館学芸主事 内 祥一郎 氏  
鹿児島大学准教授 福満 博隆 氏  
国立大隅青少年自然の家職員



## 7 日程と主な活動

8月2日 (水)	13:00 13:30		14:00		17:30 18:00 19:00			20:30 22:00	
	受付	開講式 オリエンテーション	【実習・講義】 「体験活動を通じた 人間関係づくり」			休憩	夕食	【講義】 「子供の現状と 課題」	入浴
8月3日 (木)	9:00		14:30 15:00		18:00 19:00			20:30 22:00	
	朝食	【実習】 「自然体験学習の方法Ⅰ」 (海浜活動の実際と安全 指導) ※途中、昼食有り	休憩	【実習】 「自然体験学習の方法Ⅱ」 (野外調理の指導) ※夕食を含む。			夕食・ 休憩	【実習・講義】 「星座観察と 指導方法」	入浴
8月4日 (金)	8:30		12:30 13:30		15:15 15:25				
	朝食	【講義】 「体験活動の意義と学習指導要領」 「体験活動における安全管理」 ※途中、休息有り	昼食・ 休憩	【評価】 「履修認定試験」			閉講式	解散	

## 8 事業運営上の配慮

- (1) 選択領域18時間分が全て受講できるように、夏季休業中の2泊3日で日程を設定した。
- (2) 講習の内容は、子供たちの自然体験学習を安全かつ効果的に実施できるように、また教員が知っておくべき知識や技能を身に付けられるように、講義と実習のバランスに注意してプログラムを設定した。

- (3) 海浜活動としてゴムボート体験と海遊び・レスキュー体験を行うこととした。活動前に、鹿児島海上保安部とライフセイバーに、海浜活動での注意事項について講話していただく時間を設けた。
- (4) 活動班は異年代で構成し、宿泊班は主に同年代で同室とし、交流の場や機会が増えるように工夫した。

## 9 参加者の感想

- とても充実した内容で、休み時間もあり、余裕を持って参加できました。座学ばかりでなく、演習が多く、とても興味深く取り組みました。職員の先生の気遣いやユーモアあふれる進行に感謝します。
- 体験活動と講義がうまく組み合わせられていて、分かりやすかった。また、普段は体験できないボート体験、海浜活動は良い刺激になりました。情報交換会では、勤務地、校種を超えて、いろいろなお話をすることができて、本当に楽しく充実した時間だった。
- 体験による学びの幅広さ、実感を伴う活動の奥深さ、そこで生きてくる知識の大切さに改めて気付くことができました。日々の授業でも、一層大切にしていこうと思いました。

## 10 成果

- 講義や実習、野外での活動において事故やけががなく、2泊3日無事に終了することができた。
- 専門的な知識や技能を有する講師の方々の講義や実習等を通して、自然体験活動の指導者として基本的な知識を習得することができた。
- 2泊3日で18時間分の講習であったが、参加者が講義等に集中して参加することができ、講習全体の満足度は非常に高かった。特に、海浜活動に関しては、参加者にとって非常に新鮮な体験となり、好評であった。

